

ビジネスモデルの見直しとホームページの開設を通じ旅行サービスの売上拡大！

グローバルIBARAKI(茨城県)

平成25年に設立された、県内初の訪日中国人をターゲットとしたインバウンド向け旅行会社。相談者は中国出身であり、茨城県観光物産協会：中国人誘客企画担当を経ていることが特徴である。

1. 相談のきっかけ

相談者は、販路開拓や自社ビジネスの見直しについて、地元商工会に相談をしたところ、当拠点を紹介され来訪した。

同時にWEBサイト構築の要望もあったことから、IT専門のサブコーディネーターと経営系サブコーディネーターによるチーム編成等支援として対応を行った。

2. 課題整理・分析

事業者の現状を整理したところ、観光の企画立案や宿泊等の手配を代表一人で行っており、手間がかかる反面、売上が上がっていない。そこで、

①紹介先からの中間マージンに頼るだけではなく、利益の出せるビジネスモデルに改善すること

②販路開拓に向け、当事業のサービス内容を紹介したHPを開設してサービス内容を見える化して訴求すること

③ターゲットに合わせ、問い合わせをWEB上で受ける仕組みづくりや、中国語と日本語の切替機能を構築すること
などが必要であると判断した。

3. 解決策の提案

代表一人ですべての機能を内製化するのではなく他事業者との連携を模索し、旅行社の窓口役として、旅行代金の提示やプランの提案などに特化し、旅行の手配やアテンダントは外注し手間を抑えつつ利益を確保する方策を提案した。

また、HPの開設にあたっては、中日2か国語のHPの作成経験を持つ制作会社を当拠点から紹介。両社の間に入り、事業者が必要な仕様をきちんと制作会社に伝えつつ、中立的な視点で双方がwin-winとなるように役割分担に関することなどのアドバイスを行った。

4. 成果

◆茨城交通社と協力した旅行ツアー企画を3回実現させるなど、他社と連携したビジネスモデルでサービス提供を行うことができた。さらに、視察やビジネス商談会など、重慶市の富裕層をターゲットとしたカスタマイズ旅行を企画・提案し、昨年度は500人以上の利用があり、売上が大幅拡大。

◆制作会社との調整により、日本語と中国語の両言語に対応したHPも完成し、自社サービスをより具体的に周知できるようになった。

◆現在は個人事業主から株式会社の法人格を有することになり、会社を大きく成長させている。

ホーム

おすすめツアーのご案内

各種コーディネーター

グローバルIBARAKIについて

よくある質問

お問合せ



<完成した自社HP>